

単元名

情報を読み解く
「食感のオノマトペ」「目的や相手に応じて、情報を編集する」

本単元で育成する資質・能力

課題発見・解決力

- 1 日 時 : 平成29年10月4日(水)
- 2 場 所 : 1年1組教室
- 3 学年・学級 : 1年1組 35名(男子19名, 女子16名)
- 4 単元名 : 情報を読み解く「食感のオノマトペ」「目的や相手に応じて、情報を編集する」
- 5 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校1年生の第3単元である。コミュニケーションによってやりとりされる情報は、単一で客観的なものではありえない。送り手・受け手それぞれの意図や、情報がおかれた状況や背景によって、その解釈や価値は幅をもつ。情報は、読み解かれるものである。対象は、文字情報のみならず、「非連続型テキスト」も含む。「連続型」と「非連続型」を関連付けていくことで、内容を理解するだけでなく、送り手のメッセージの中心を捉えたり、意図や伝え方を批判的に検証したりすることも可能になる。

「食感のオノマトペ」は、1年生に配置された第3番目の説明的文章である。食に関することばの特徴を対象にした教材であり、調査によって得られた情報を筆者が「読み解く」筋道が丁寧に語られている。調査によって得られた客観的な事実と、それについての筆者の解釈とを区別しつつも関連付けて読んでいくことで、生徒は、情報の特性とそれを読み解くことを具体的に理解できる。

「目的や相手に応じて、情報を編集する」は、生徒を実際に情報発信の立場におき、相手や内容によって主体的に取舍選択しながら、それまでの学習で理解したこと・習得したことの活用となることを意図して設定されている。

(2) 生徒観(調査結果からみる課題)

本学級の生徒は、書くことの苦手な生徒が多い。語彙の乏しさに加えて、具体的に詳しく豊かに表現する力が不足している。スピーチや発表にも不慣れで抵抗を示す生徒もいることから、自分が「伝える側・発信する側」になる体験が少なかったと考えられる。

6月に実施した学習に関するアンケート結果からも、表現や主体的な学びに関する部分で課題があることがわかった。課題解決に対する意欲や方法を予想することなどは7割を超える生徒が肯定的回答をしているものの、「3.進んで、資料を集めたり取材をしたりしている」「5.自分の考えを積極的に伝えていく」項目の「よくあてはまる」の割合の低さは顕著である。手立てとして、生徒自身も意義を見出している話し合いやペア学習を効果的に仕組んでいく必要があると考える。

	質 問	よくあてはまる	ややあてはまる
1	授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思います。	28.6%	42.9%

2	授業では、解決しようとする課題について、「たぶんこうではないか」「こうすれなできるのではないか」と予想しています。	40.0%	34.3%
3	授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	5.7%	51.4%
4	授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	11.4%	54.3%
5	授業では、自分の考えを積極的に伝えています。	14.3%	42.9%
6	授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	8.6%	28.6%
7	授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	28.6%	51.4%

(3) 指導観（指導改善のポイント）

「言語についての知識・理解・技能」と「書く能力」を身に付けることを目標に据え、「食感のオノマトペ」と「目的や相手に応じて、情報を編集する」をつなげての学習とする。そのため、「目的や相手に応じて、情報を編集する」の教科書本文では学習活動例として『『行事案内』リーフレットを作る』を取り上げているところを「食品宣伝」と変更設定する。日常のオノマトペの使われ方と教材「食感のオノマトペ」の内容から、オノマトペの特徴や効果を理解させ、「食感を魅力的に伝える食品宣伝リーフレットを作る」課題に取り組みせる学習過程である。

まず、導入時に課題と到達目標を具体的に提示する。こうすることが、学習者に課題意識をもたせ、主体的に課題を発見しながら解決していこうとする態度につながると思う。教材のつながりや学習の見通しを学習者と共有した上で、「情報収集と整理の手法」や「説明文の読み方」という既習事項を活用しつつ、新たに得る知識と組み合わせるより良い自己の表現を追求できるように導きたい。

指導にあたっては、本校の研究テーマに含まれる「ピア・サポート」を積極的に取り入れる。読み取りや表現の場面でのペアやグループでの協同学習を通して、語句や内容への理解を深めさせるとともに、自分とは異なる見方や表現方法があることにも気づかせたい。個人思考が難しい生徒も、教え合いや対話、相互評価の中で、スムーズに思考が深まるように工夫していく。

単元の目標

事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつ。 【伝国イ(ウ)】

目的と相手を明確にして集めた情報を分類・整理して、わかりやすく構成する。 【書くイ】

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で使われているオノマトペについて積極的に自分の意見を述べている。 食感に関するオノマトペを様々な方法で集め、自分の表現に活かそうとしている。 リーフレットの特徴と役割を理解し、魅力あるリーフレットを作ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたい事柄が効果的に伝わるよう、オノマトペを用いて工夫して書いている。 目的と相手を明確にし、集めた情報を分類・整理してわかりやすく構成している。 	<ul style="list-style-type: none"> オノマトペの意味や効果について理解を深めている。 他の生徒の表現の良さに気づいたりオノマトペの使い方の違いに気づいたりして、語感を磨き、自分の語彙を広げている。

6 指導と評価の計画

全5時間 (本時は3/5)

次	○学習内容 (時数) ・ポイントになる生徒の思考	主な学習内容			資質・能力の評価
		関	書	言	
一	<p>○オノマトペを使った表現と使わない表現とを比較する。</p> <p>・オノマトペを使うことで伝わり方がどう違ってくるか。</p> <p>○「食感を魅力的に伝える食品宣伝リーフレットを作る」という課題を理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>・どのような情報を集めれば課題を解決することができるか。</p> <div style="border: 1px solid #A52A2A; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">課題の設定</div> <p>○食感に関する日本語のオノマトペの特徴や使われ方を教材文から読み取る。</p> <div style="border: 1px solid #A52A2A; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">情報の収集</div> <p>○オノマトペの意味や効果についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid #A52A2A; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">整理・分析</div> <p style="text-align: right;">(2)</p>	○			<p>生活の中で使われているオノマトペについて積極的に自分の意見を述べている。</p> <p>◎ リーフレットの特徴と役割を理解し、魅力あるリーフレットを作ろうとしている。</p> <p>オノマトペの意味や効果について理解を深めている。</p>

<p>二</p>	<p>○目的や相手に応じたリーフレット作りのポイントを確認する。</p> <p>○様々な食べ物に合うオノマトペを書き出す。</p> <p style="text-align: center;">情報の収集</p> <p>○宣伝したい食べ物のおノマトペとキャッチコピーを考える。</p> <p>・どうすればインパクトのあるキャッチコピーになるか。</p> <p>○構成を考え、食品紹介リーフレットを作る。</p> <p style="text-align: center;">創造・表現</p> <p>○相互評価を受けて学習全体を振り返る。</p> <p style="text-align: center;">まとめ・振り返り</p> <p>(3) 【本時 1/3】</p>	<p>○</p> <p style="text-align: center;">◎</p> <p>○</p>	<p>リーフレットの特徴と役割を理解し、魅力あるリーフレットを作ろうとしている。</p> <p>食感に関するオノマトペを様々な方法で集め、自分の表現に活かそうとしている。</p> <p>伝えたい事柄が効果的に伝わるよう、オノマトペを用いて工夫して書いている。</p> <p>目的と相手を明確にし、集めた情報を分類・整理してわかりやすく構成している。</p> <p>他の生徒の表現の良さに気づいたりオノマトペの使い方の違いに気づいたりして、語感を磨き、自分の語彙を広げている。</p>	<p>課題発見・解決力</p> <p>オノマトペの意味や効果についての理解を活かして課題に取り組み、適切に表現しているか。</p> <p>〔観察、リーフレット、ワークシート〕</p>
----------	--	--	---	---

7 本単元において育成しようとする資質・能力との係わり

本校において、重点的に育成しようとする資質・能力は次の6つである。

知識	①将来に通用する基礎学力
スキル	②課題発見・解決力 ③人間関係形成能力
意欲・態度	④チャレンジ精神 ⑤忍耐力
価値観・倫理観	⑥人としての思いやり

この中でも、本単元では、特に次の点に重点を置くものとする。

【スキル】

②課題発見・解決力

- ・既存の知識・情報と新たな知識・情報を統合して、目的と相手に応じた情報発信のため、適切に表現する力を身に付ける。

8 本時の展開

(1) 本時の目標

食感に関するオノマトペを様々な方法で集め、伝えたい事柄の表現に活かすことができる。

(2) 観点別評価規準

- ・食感に関するオノマトペを様々な方法で集め、自分の表現に活かそうとしている。
(関心・意欲・態度)
- ・伝えたい事柄が効果的に伝わるよう、オノマトペを用いて工夫して書いている。(書く)

(3) 学習の展開 (3時間目/全5時間)

	学習活動	指導上の留意事項■ 努力を要する生徒への指導の 手立て◆	観点の評価○ 資質能力の評価●
導入	1 本時の目標を確認する。		
	2 目的や相手に応じたリーフレット作りのポイントを確認する。 ・「見た人が食べたくなる」「情報が読み取りやすい」ものを作る。 ・記事の整理・配列, 写真やイラストの配置, 文字の大きさや書体, を考えることに加えて, インパクトのあるキャッチコピーが必要である。	リーフレットに使えるオノマトペを選んで, キャッチコピーを書こう。 ■レポートの書き方や新聞づくりのポイントを想起させる。 ■掲載内容とレイアウトに関するポイントを押さえる。	
展開	3 様々な食べ物の食感を表すオノマトペを書き出す。	■用意した食べ物以外についても自由に記入できるワークシートを準備する。 ◆辞典や資料集を活用させる。	○様々な方法で集めた食感に関するオノマトペを, 自分の表現に活かそうとしている。 (ワークシート)
	4 グループで, 店のコンセプトを想定し, 宣伝する食べ物を決める。 ・主にどの層をターゲットにするのか。 ・何を“売り”にするのか。	■個々のワークシートの記述をもとに, 店に関する事項を検討させる。	
	5 宣伝したい食べ物のキャッチコピーを考える。	■食感が魅力的に伝わる表現を工夫させる。 ◆店のチラシなどの実物を参考にさせる。	●適切なオノマトペを選び, 食感が伝わるキャッチコピーを書いている。 (ワークシート)

ま と め	6 グループで交流し、推敲する。	<p>■店のコンセプトなどを考慮に入れながら、個々の作品について意見交換させる。</p>
	<p>深め合いのピア・サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店のコンセプトと関連付けた根拠を挙げて、自分の考えを説明し合える。 ・他の人の意見を参考にし、キャッチコピーを推敲することができる。 	

(4) 本時で育成したい資質・能力の評価規準

資質・能力	評 価 規 準
②課題解決力	<p>A：オノマトペを効果的に用いて魅力的なキャッチコピーを書き、グループ内でも積極的に交流している。</p> <p>B：適切なオノマトペを選び、食感が伝わるキャッチコピーを書いている。</p> <p>C：キャッチコピーを時間内に考え、グループで交流できる。</p>

9 板 書 計 画

☆主にどの層をターゲットにするか
☆何を「売り」にするか

キャッチ
コピー

記事の整
理・配列

文字の大き
さや書体

写真やイラ
ストの配置

本時のねらい

リーフレットに使えるオノマトペを選んで、キャッチコピーを書こう。

リーフレット作りのポイント

- 見た人が食べたいくなる！
- 情報が読み取りやすい！